



株式会社 グリーンパワー / 一般社団法人 SISRA
代表取締役 / 代表理事

南方 晴雄

学生時代から会社経営に携わる。毛皮屋や宝石商などを経て、産業廃棄物事業を開始する。その後、会社を弟に譲り、単身大阪へ。北海道で偶然知ったヒトデを使った害虫対策をヒントに研究を重ね、害獣忌避剤を開発した。現在は、(一社) SISRA でモリンガの植林プロジェクトにも取り組み、環境保全に尽力している。

ヒトデを原料とした忌避剤を独自開発 モリンガの植林で環境保全にも貢献

害獣忌避剤「マリンスター」の製造・販売を手がける(株)グリーンパワー。南方晴雄社長は次世代へ大切な自然を残すため、持続可能な社会づくりに力を注いでいる。事業の根底にある「社会貢献」への強い思いに、タレントの石黒彩さんが迫るインタビュー。

ヒトデの山を見て忌避剤を開発

石黒 健康食品販売や環境事業など、多岐にわたるビジネスを展開する南方社長。海の生物・ヒトデを使った忌避剤が注目されていますが、開発のきっかけを教えてくださいませんか？

南方 私は今から25年ほど前に産業廃棄物処理の事業を始めました。その後、その会社を弟に譲って単身で大阪へ移ったんです。そこで当社の前身となる会社を立ち上げ、ヒトデを利用した忌避剤の研究と販売を始めました。その発想の原点となったのは、北海道への旅行でした。ホタテを販売している店の軒先で、ヒトデが干されているのを見かけたんです。

石黒 普段見慣れない光景で、興味を引

かれますね。

南方 ええ。地元の方に尋ねてみると、「乾燥させたヒトデをトイレに放り込んでおくと、ウジ虫が湧かなくなる」と言うんです。汲み取り式のトイレが現役だったその地域では、乾燥ヒトデがウジ虫対策に使われていました。そこにビジネスチャンスを感じた私は、まず害虫対策として研究を始めました。しかし、研究を重ねるうちに、害虫よりもむしろカラス、イノシシ、モグラ、ネズミといった害獣に効果があることがわかりました。そして、5年の研究を経て、ヒトデを原料とした忌避剤の製品化にこぎつけたんです。

石黒 偶然の出合いが今の事業につながったのですね。



南方 そうなんです。その後、北海道でのヒトデ確保が難しくなり、一時は休業を余儀なくされましたが、現在はインドネシアの島々からヒトデを集めて加工しています。事業再開を機に拠点を大阪から地元・福岡に移し、2019年に当社を設立しました。

忌避剤で幅広い鳥獣をブロック！

石黒 それでは、(株)グリーンパワーさんの忌避剤について詳しくお聞かせください。

南方 当社の忌避剤「マリンスター」は、畑、ベランダ、屋根裏などでご使用いただけます。畑ではイノシシやシカなどの害獣、ベランダではカラスやハト、屋根裏ではネズミやイタチの侵入を防ぎます。さらに、畑にまけば土壌改良にも効果があるんですよ。

石黒 害獣の侵入を防ぐと同時に土も良くすることができるなんて、まさに一石二鳥ですね！

南方 その通りです。飲食店や倉庫向けの業務用、シンクの下や冷蔵庫の裏に設置できる家庭用もご用意しています。また、「もぐらバイバイ」や「猫バイバイ」など、用途に合わせた商品も取り揃えています。おかげさまで、ラジオ・テレビショッピング、ネット通販、ホームセンターでの売れ行きは好調です。製造から販売まで一貫して対応することで、高品質な製品を安定して供給できています。

「奇跡の木」モリンガを植林

石黒 南方社長のもう1つの事業の柱である環境事業についても、ぜひ詳しく教えてください。

南方 私は現在、(一社) SISRA の活動として、インドネシアでモリンガの植林を進めています。モリンガには90種類以上の栄養成分や抗酸化物質が含まれており、スーパーフードとして知られています。また、モリンガはCO₂吸収能力が非常に高い木でもあるんです。1人の人間が1年間に呼吸で排出するCO₂は約300kgと言われているんです。モリンガは1本で年間約100kgのCO₂を吸収するとされているので、理論上はモリンガ3本で、1人分の呼吸によるCO₂を吸収できる計算になるんです。

石黒 なるほど。そうして自分と引き付けて考えると、環境問題が身近に感じられますよね。

南方 そうですよ。インドネシアでモリンガの木を3本植えるのにかかる費

用は、日本円で約500円です。そこで当社は2025年5月4日「みどりの日」に、福岡ソフトバンクホークスの公式戦のゲームスポンサーとなり、会場で一口500円の募金活動を行いました。

石黒 応援に来られた方が環境について考える良いきっかけになったと思います。素晴らしい取り組みですね。

南方 ありがとうございます。また、当社は元福岡ソフトバンクホークス投手の攝津正氏をアンバサダーに迎えました。2025年10月に「RKBカラフルフェス2025」に出展したのですが、その際には攝津氏にもご登場いただいたんです。当日は当社のモリンガ製品を先着100名様に配布させていただきました。1人でも多くの方に環境問題に興味を持っていただくため、今後もこうした啓発活動には力を入れていきたいですね。

石黒 非常にパワフルな南方社長。その事業にける情熱はどこから湧いてくるのでしょうか？

南方 「人のために」という思いが、私の原動力です。子どもたちの未来を考えると、「今ある自然を次世代に引き継ぐ」という責任を強く感じます。また、インドネシアでの植林プロジェクトは現地の雇用創出にもつながっています。当社ではモリンガのサプリメントの研究開発も行っていますが、インドネシア政府の理解を得たうえで、製造した製品を高齢者施設に無料で配布しているんです。このように、私たちの活動には社会貢献への熱い思いがあります。これからも人々の笑顔のために走り続けていきます。

Guest Comment>>

石黒 彩 (タレント)

南方社長のお話をうかがい、自分のやりたいことを形にする方は、「信じる力」が非常に強いのだと改めて感じました。募金やイベントを通じて、子どもたちが環境問題に触れることは、とても大切なことだと感じます。未来を担う子どもたちに、豊かな自然を残したいという気持ちは私も同じ。自然を次世代へつなぐためにも、社長の今後のご活躍に期待しています！

